

シルバーマルチのハウス内における防虫効果確認試験



6/6 左右:試験品 中:慣行品



6/6 試験品展張時



7/18~25



7/26~8/2



8/3~9



8/10~17

試験目的

シルバーマルチのハウス内における防虫効果の確認

試験作物 及び品種

キヌサヤ(品種:美笹)

試験資材 及び数量(規格)

ツジロンシルバー(0.023mm×150cm×200m) 4本

慣行資材

ポーチューシルバー(0.023mm×150cm×200m)

栽培方法

播種日	収穫日
5月下旬	7月中旬

【栽植密度】 株間:20cm

資材使用期間

7月末日~8月末日

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

展張作業性については慣行品と比較し、変わらなかった。

外観は慣行品は展張後のシワがなかったのに対し、試験品は若干シワがあるように思えた。

しかし、営農作業においては特に気になるものでなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育状況、収穫への影響について、慣行品・試験品ともに差がなかった。

虫害による生育への影響が出ていないことから、防虫資材としての効果は同等と思われる。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

営農中の破れ等は発生しなかった。資材は1年間の使用であったが、強度においては慣行品と差がないと言える。

(4)保温効果について

生育差は見られなかったため、保温効果の差は少ないと思われる。

(5)雑草・病害虫の発生について

捕虫数については写真を参照(いずれも左側3つが慣行品、右側3つが試験品)。

観測期間により慣行品・試験品の捕虫数に差があることもあったが、試用期間を通してみると慣行品と試験品の差は見られなかったと言える。

モニター感想

慣行品・試験品ともに防虫忌避資材としては同等であると言える。

そのため、価格が安くなるのであれば使用していきたい。

JA担当者の感想(加藤氏)

試験品は慣行品より安価であるが、慣行品と同等の効果を得られている。そのため価格帯を維持できるのであれば継続的に使用していきたい。

しかし、製造ロットがあるため、当用期の小口のオーダーに対応できるようにしてもらいたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

現行の価格帯の維持と、当用期の小口オーダーの対応ができれば普及すると思う。

将来希望する資材について

温暖化等の影響により、数年前に比べて猛暑が続く日があるので、数年間使用できるような遮光資材または、物理的防除資材(不織布・ネット)等がほしい。